

労働力調査（基本集計）

2021年（令和3年）10～12月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6656万人と、前年同期に比べ33万人の減少
- ・ 完全失業者数は179万人と、前年同期に比べ22万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.6%と、前年同期に比べ0.3ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北関東・甲信、北陸、近畿、中国、四国及び九州は減少、東海及び沖縄は増加
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北陸、東海、近畿、中国、九州及び沖縄は減少、北関東・甲信及び四国は同数
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	3.0%	(0.3ポイント低下)	近畿	2.8%	(0.3ポイント低下)
東北	2.5%	(0.4 ")	中国	2.3%	(0.8 ")
南関東	2.8%	(0.3 ")	四国	2.5%	(0.2 ")
北関東・甲信	2.5%	(前年同期と同率)	九州	2.5%	(0.5 ")
北陸	2.3%	(0.3ポイント低下)	沖縄	3.1%	(0.5 ")
東海	2.2%	(0.3 ")			

図1 地域別完全失業率

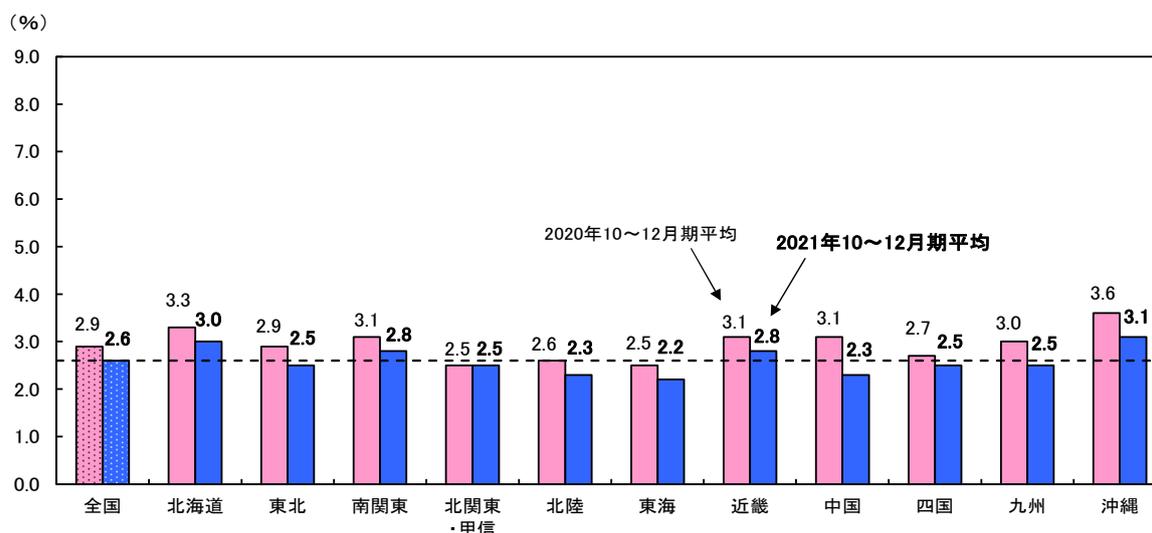


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

